





2015年12月期決算説明資料

2015年1月1日 ～ 2015年12月31日

竹本容器株式会社
（東証2部　4248）

2016年2月12日

TAKEMOTO

資料構成

1.2015年12月期業績概要

2.2016年12月期業績見通し

3.中長期目標

4.参考資料

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

1.2015年12月期業績概要

2015年12月期連結決算ハイライト

	2015年12月期		2014年12月期		前年比	2015年 当初計画比
	百万円	%	百万円	%	百万円	百万円
売上高	12,221	100.0	11,062	100.0	+1,159	+ 616
営業利益	1,250	10.2	877	7.9	+ 372	+ 210
営業外損益	25	0.4	2	0.0	+ 23	+ 48
経常利益	1,275	10.4	879	8.0	+ 395	+ 258
特別損益	▲17	▲0.1	9	0.1	▲ 27	▲ 12
税金等調整前 当期純利益	1,257	10.3	889	8.0	+ 368	+ 246
当期純利益	827	6.8	581	5.3	+ 246	+ 155

減価償却費	638	723
設備投資額	1,459	1,360
（うち　金型）	314	438
ＲＯＥ	15.5%	13.1%

【参考】平均為替レート

	2015年12月期	2014年12月期
対人民元	19.23 円	17.19 円
対米ドル	121.10 円	105.79 円

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

地域別グループ企業業績

〔日本〕

	2015年	2014年	前期比	当初計画比
売上高	9,174百万円	8,568百万円	+606百万円	+330百万円
営業利益	876百万円	630百万円	+246百万円	+126百万円

売上増加要因

①スタンダードボトルニーズ増加、新規案件獲得増加、営業強化

②訪日観光客の増加により、国内化粧品需要の増加

③開発提案型営業によりスタンダードボトル、カスタムボトルの開発増加

④2015年5月新工場本格稼働による押し出しチューブ生産拡大⇒売上増加

利益増加要因

①固定資産に対する減価償却方法の変更（定率法⇒定額法）

②機械稼働率向上により、製造原価の低減

③プラスチック原材料価格の低下

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

地域別グループ企業業績

〔中国〕

	2015年	2014年	前期比	当初計画比
売上高	3,015百万円	2,312百万円	+703百万円	+214百万円
営業利益	339百万円	214百万円	+125百万円	+79百万円

売上増加要因

①開発提案型営業によりスタンダードボトル、カスタムボトルの開発増加

②営業強化により、新規案件獲得増加

③為替変動（円安元高）による円換算額増加（前期比+319百万円）

利益増加要因

①生産効率の改善により機械稼働率向上し、製造原価の低減

②プラスチック原材料価格の低下

③為替変動（円安元高）による円換算額増加（前期比+36百万円）

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

区分別販売実績

販売先の主要事業内容ごとの販売実績

区分	2015年12月期		2014年12月期		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
	百万円	%	百万円	%	百万円
化粧・美容	7,112	58.2	6,472	58.5	639
日用・雑貨	557	4.6	681	6.2	▲123
食品・健康食品	1,012	8.3	972	8.8	40
化学・医薬	580	4.7	502	4.5	78
卸、その他	2,959	24.2	2,433	22.0	525
合　計	12,221	100.0	11,062	100.0	1,159

※上記区分は販売先の主要事業内容により分類したものであり、
販売先における実際の用途と上記区分名称は異なる場合があります。

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

区分別販売実績

製商品の内訳ごとの販売実績

区分	2015年12月期		2014年12月期		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
	百万円	%	百万円	%	百万円
自社製品（スタンダードボトル）	8,981	73.5	8,019	72.5	962
顧客金型製品（カスタムボトル）	1,345	11.0	1,213	11.0	131
他社製品	1,474	12.1	1,527	13.8	▲ 53
材料その他	419	3.4	300	2.7	118
合　計	12,221	100.0	11,062	100.0	1,044

※上記区分は以下により分類しています

自社製品：当社所有の金型を用いて生産した製品（スタンダードボトル）

顧客金型製品：顧客が金型費用を負担している製品（カスタムボトル）

他社製品：顧客の要望等により他社から仕入れた品物

材料その他：協力メーカーへの原材料を販売した物等

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

金型（新製品）開発状況

当社グループでは、中国子会社で手掛けている金型製作工程の一部内製化の施策を進行させるとともに、金型設計標準化ならびに金型開発体制の拡大強化を行うことで、2018年には2015年実績と比較して金型開発能力を2倍以上とすることを新たな中期目標として設定しています。
2015年度は年間230型（スタンダードボトルとカスタムボトルの合算）の金型製作を計画しておりましたが、244型を完成させることができました。

	2015年度 完成金型数	製作中	2014年度 完成金型数
日本	132型 (29型)	27型 (4型)	143型 (12型)
中国	112型 (40型)	76型 (10型)	96型 (40型)
合計	244型 (69型)	103型 (14型)	239型 (52型)

※表の（　）は内数でカスタムボトル用金型

2015年12月末時点での自社金型数は2,843型に。

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

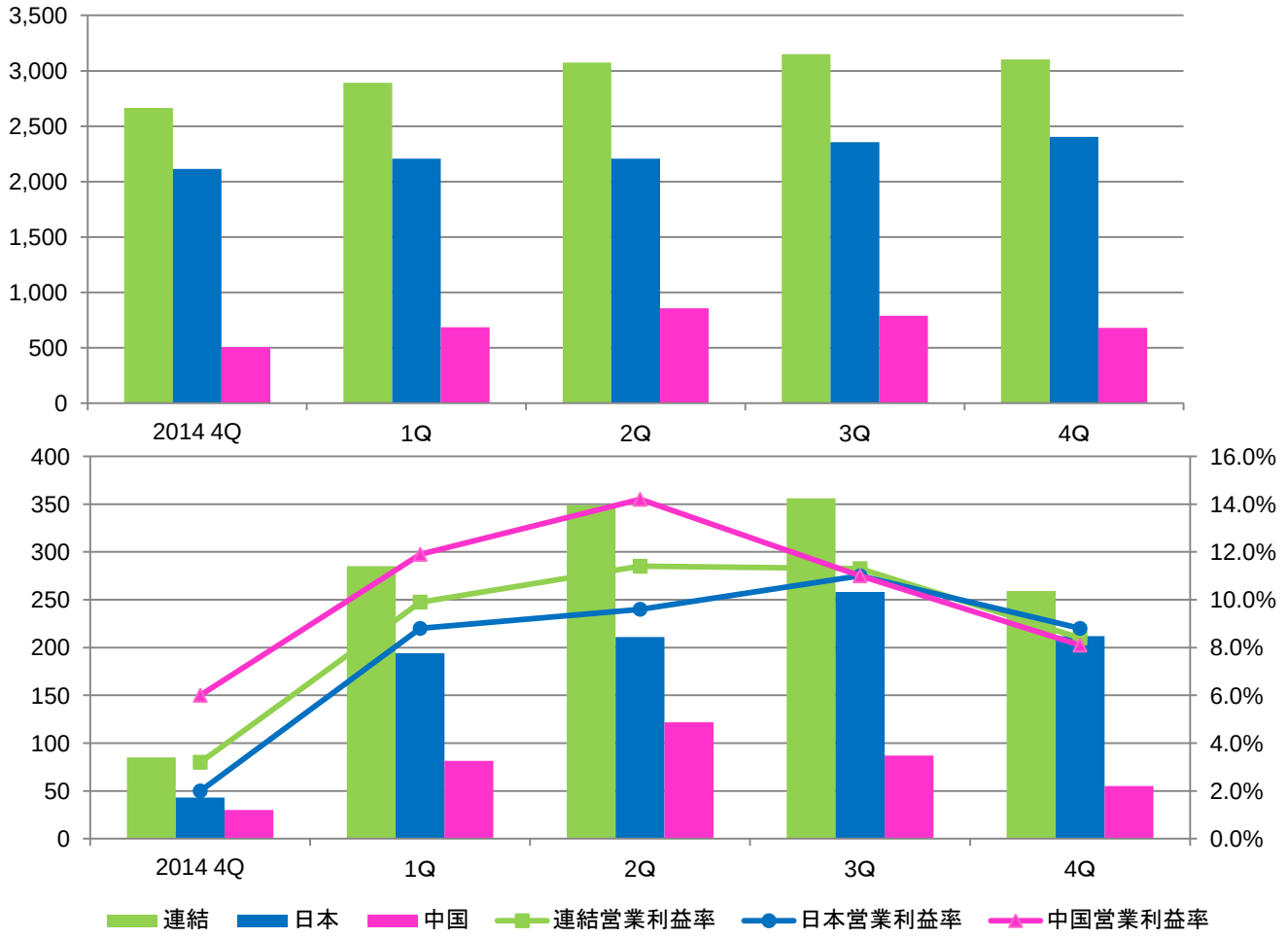
1.2015年12月期業績概要

2015年四半期業績の推移

単位：百万円

〔売上高〕

〔営業利益〕



※日本、中国はそれぞれ当該地域のグループ企業業績を示している

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

1.2015年12月期業績概要

2.2016年12月期業績見通し

3.中長期目標

4.参考資料

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

2016年12月期　損益見通し

	2015年12月期		2016年12月期		前期比	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	12,221	100.0	12,788	100.0	567	+4.6
営業利益	1,250	10.2	1,202	9.4	▲ 48	▲3.9
営業外損益	25	0.2	▲ 15	–	▲ 24	–
経常利益	1,276	10.4	1,186	9.3	▲ 89	▲7.0
特別損失	▲17	0.1	▲ 54	–	▲ 36	–
税金等調整前当期純利益	1,258	10.3	1,132	8.9	▲125	▲10.0
当期純利益	827	6.8	781	6.1	▲ 46	▲ 5.6

減価償却費	638	867
設備投資額	1,459	3,282
(うち金型)	314	523

単年度計画ポイント

売上高

・消費者ニーズの多様化、商品サイクルの高速化により、開発コスト削減、開発期間を短縮できるスタンダードボトルニーズは引き続き拡大
・開発提案拡大、新規金型増加により売上増加を見込む

営業利益

・減価償却費増加、生産拡大のための先行投資（工場、機械、金型）の実施により営業利益以下は減少

※想定為替レートは
下表の通り

	2015年12月期	2016年12月期
対人民元	19.23 円	19.00 円
対米ドル	121.10 円	120.00 円

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

為替感応度について

2016年12月期計画の想定為替レートを前提とした場合
為替が1円円安となった場合の営業利益の影響額は以下のとおりとなります。

	想定為替レート	営業利益影響額
対　人　民　元	19.00円	+19百万円
対　米　ド　ル	120.00円	△　8百万円

現状では日本国内⇔海外の製商品の取引はごく少量で
売上金額への影響は限定的
人民元に関しては、中国子会社の円換算の影響度が大きい
米ドルに関しては、米子会社の規模小さく、
日本での原材料調達額への影響が相対的に大きい

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

製造原価の内訳について

	2016年12月期（計画）		2015年12月期		2014年12月期	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	12,788	100.0	12,221	100.0	11,062	100.0
商品及び製品売上高	12,689	99.2	12,087	98.9	10,961	99.1
商品及び製品売上原価	8,849	69.2	8,167	66.8	7,642	69.1
商品及び製品仕入高	3,048	23.8	2,911	23.8	3,096	28.0
製造原価	5,800	45.4	5,084	41.6	4,609	41.7
材料費	1,780	13.9	1,628	13.3	1,453	13.1
労務費	2,252	17.6	2,001	16.4	1,694	15.3
経　費	1,766	13.8	1,455	11.9	1,461	13.2
売上総利益	3,851	30.1	3,846	31.5	3,272	29.6

※2016年12月期の材料購入単価は2015年の平均調達価格並みを想定。
※2015年に低減した減価償却負担（経費）が2016年では増加している。

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

配当政策

	2015年12月期	2016年12月期 計画
中間配当金	12円	14円
期末配当金	16円	14円
年間配当金	28円	28円
当期純利益	827百万円	781百万円
配当性向	18.6%	20.4%

・利益還元策は配当性向20%を目標として実施する方針

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

1.2015年12月期業績概要

2.2016年12月期業績見通し

3.中長期目標

4.参考資料

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

3.中長期目標

中期計画（2016～2018）

〔中期スローガン〕
開発提案型ボトルパッケージングメーカーとして、世界で最も顧客に必要とされ、チャレンジングで活気ある企業になる

	2016年12月期		2017年12月期		2018年12月期	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	12,788	100	13,700	100	15,000	100
営業利益	1,202	9.4	1,295	9.4	1,561	10.4
経常利益	1,186	9.2	1,282	9.3	1,536	10.2
当期純利益	781	6.1	893	6.5	1,078	7.2
減価償却費	867		1,017		1,176	
設備投資額	3,282		1,050		3,800	
(うち 金型)	523		600		800	
EBITDA	2,069		2,312		2,737	

中期計画策定のポイント

〔活動計画〕

①スタンダードボトルの開発
2015年実績 175型 ⇒ 2018年 370型

②カスタマイズボトル・ファクトリーの拡大
「新しい成形」「新しい加飾」「高品質」「量産対応」「短納期」をキーワードとした工場づくり

③カスタムボトル・イノベーションの推進
2015年開発実績 69型 ⇒ 2018年 170型

④グローバルに活動
日本、中国、タイ、ヨーロッパ、アメリカ、インド

〔前提条件〕

●プラスチック原材料
2015年調達実績で推移すると想定

●為替レート
19円/元、120円/ドルで推移すると想定

●設備投資
2016年は日本国内の工場への投資
2018年は海外工場への投資を想定

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

地域別グループ企業計画

地域別セグメントとは一致しません

〔日本〕

	2015年	2016年	2017年	2018年
売上高	**9,174百万円**	**9,555百万円**	**10,000百万円**	**10,900百万円**
（増減）	+606百万円	+381百万円	+445百万円	+900百万円
営業利益	**876百万円**	**815百万円**	**895百万円**	**1,025百万円**
（利益率）	9.5%	8.5%	9.0%	9.4%

〔中国〕

	2015年	2016年	2017年	2018年
売上高	**3,015百万円**	**3,192百万円**	**3,413百万円**	**3,650百万円**
（増減）	+703百万円	+177百万円	+221百万円	+237百万円
営業利益	**339百万円**	**362百万円**	**400百万円**	**486百万円**
（利益率）	11.2%	11.3%	11.7%	13.3%

〔その他〕

	2015年	2016年	2017年	2018年
売上高	**179百万円**	**215百万円**	**300百万円**	**500百万円**
（増減）	▲1百万円	+36百万円	+85百万円	+200百万円
営業利益	**32百万円**	**20百万円**	**0百万円**	**50百万円**
（利益率）	17.9%	9.3%	0.0%	10.0%

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

1.2015年12月期業績概要

2.2016年12月期業績見通し

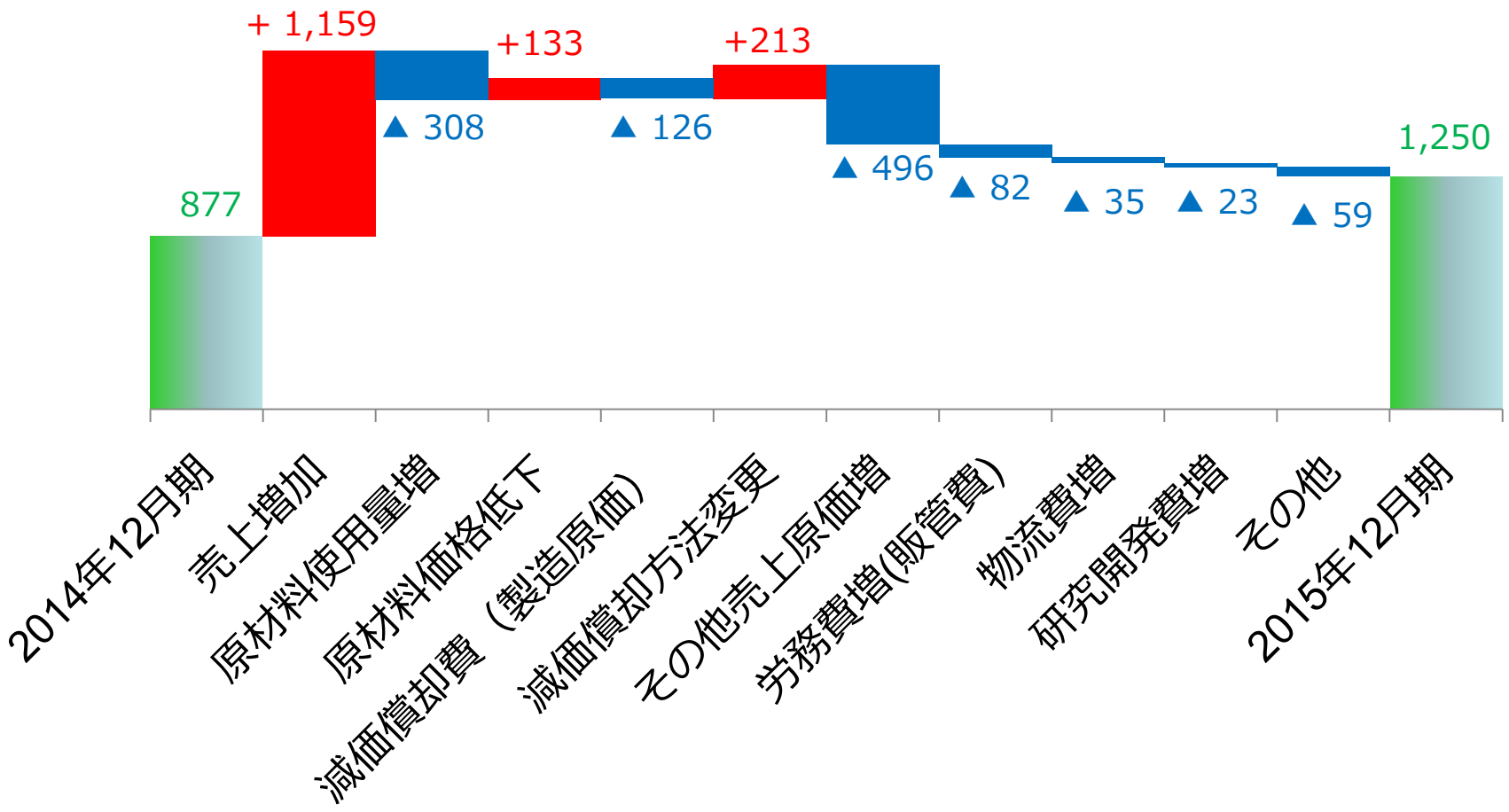
3.中長期目標

4.参考資料

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

2015年12月期　営業利益の増加分析

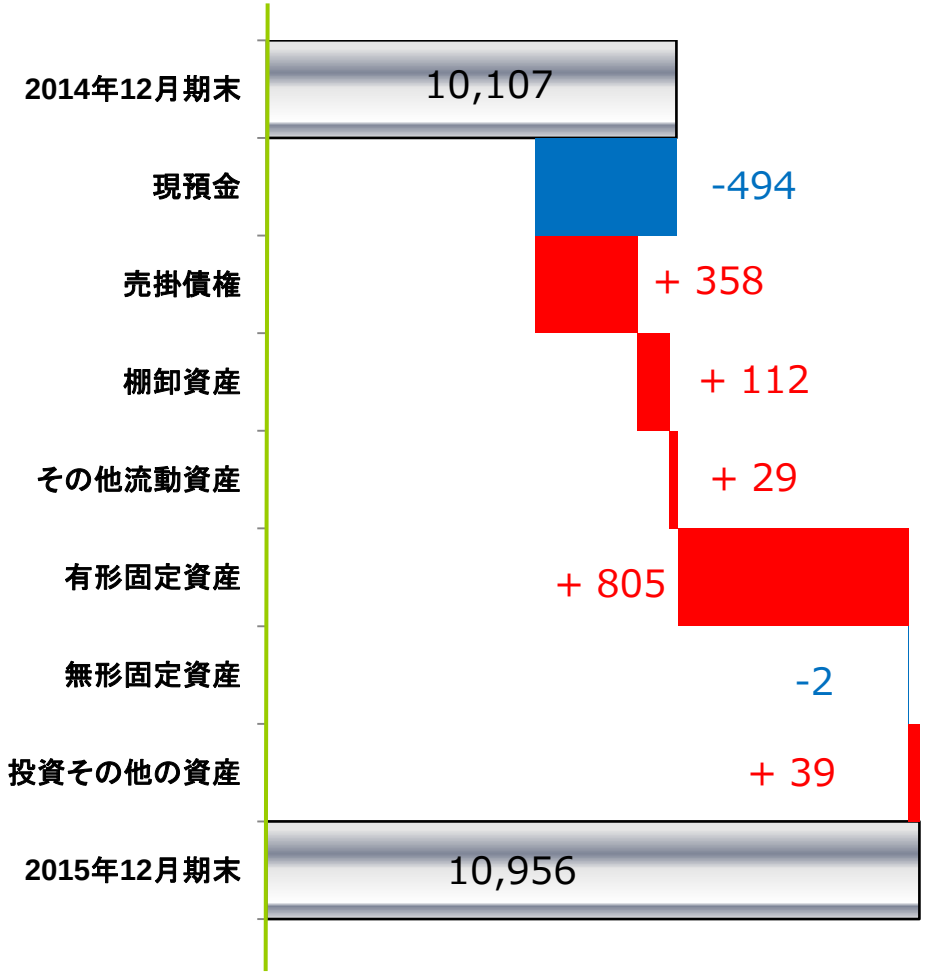
百万円



Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

2015年12月期　連結貸借対照表　資産の部

百万円



■流動資産　＋　5

現預金	▲ 494
売掛債権	＋ 358
商品及び製品	＋ 104

■固定資産　＋ 843

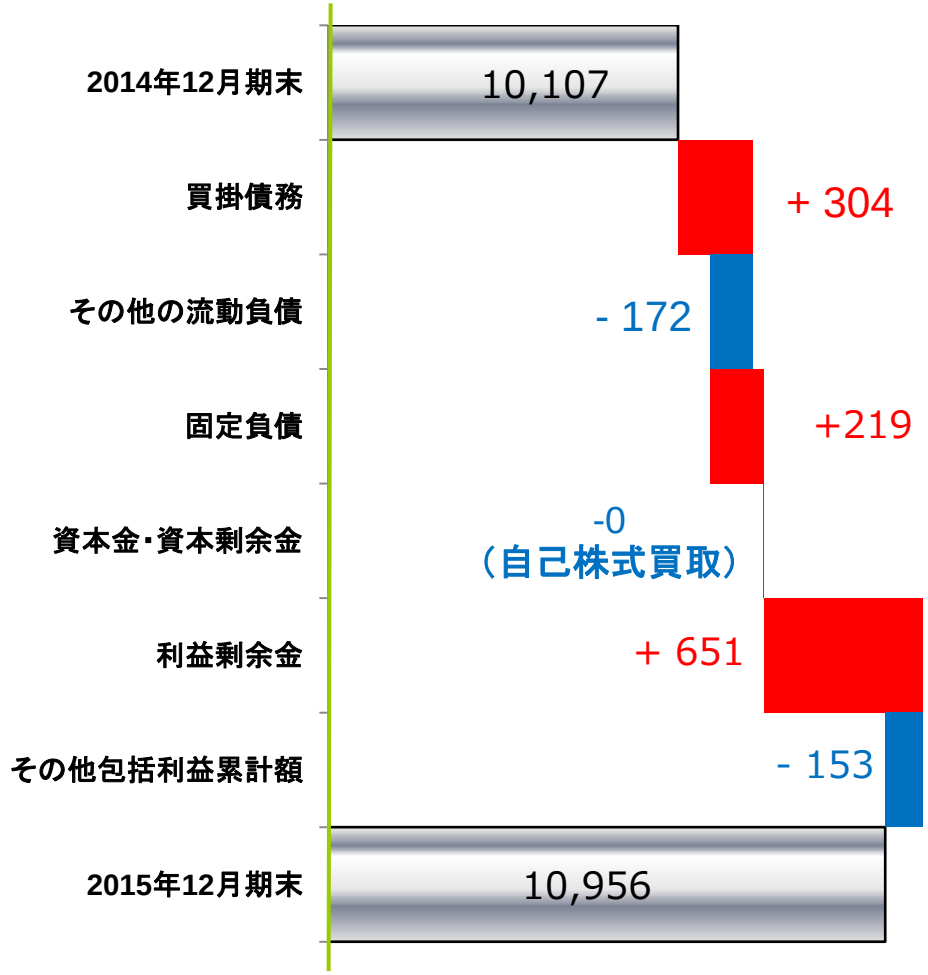
有形固定資産	＋ 805
建物及び構築物	＋ 362
機械装置及び運搬具	＋ 244
金型	＋ 72
建設仮勘定	＋ 75

（結城事業所増設工事着手）

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

2015年12月期　連結貸借対照表　負債・純資産の部

百万円



■負債　＋ 351

買掛債務	＋ 304
長期借入金	＋ 134 ＊1年内含む
未払金	▲ 57
未払費用	＋ 66
設備支払手形	▲ 134
未払法人税等	＋ 90
未払消費税等	▲ 64

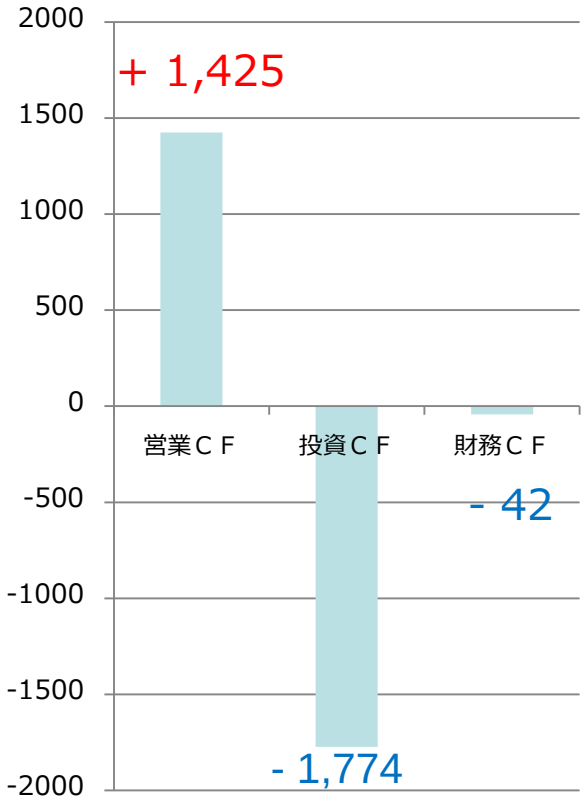
■純資産　＋ 497

利益剰余金	＋ 651
その他包括利益累計額	▲ 153
為替換算調整額	▲ 151

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

2015年12月期　連結キャッシュ・フローの増減

百万円



現金及び現金同等物は417百万円減少

■営業活動によるキャッシュ・フロー	**＋1,425**
税金等調整前当期純利益	＋ 1,256
減価償却費	＋ 638
売上債権の増加	△ 392
たな卸資産の増加	△ 128
仕入債務の増加	＋ 322
法人税等の支払額	△ 389
■投資活動によるキャッシュ・フロー	**△1,774**
有形固定資産の取得による支出	△ 1,820
■財務活動によるキャッシュ・フロー	**△ 42**
長期借入金の増減	＋ 134
配当金の支払い	△ 176

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

【会社概要】

会　社　名	竹本容器株式会社
事　業　内　容	プラスチック製容器等の製造・販売
設 立 年 月 日	1953年(昭和28年)5月19日
代　表　者　名	代表取締役社長　竹本 笑子
本 社 所 在 地	東京都台東区松が谷二丁目21-5
資　本　金	3億3,205万円
発 行 済 株 式 数	5,682,200株　（1単元の株式数　100株）
株　主　数	1,802名　（1単元以上保有）
グループ従業員数	892名

※　数字はいずれも2015年12月末時点

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

「挑戦」なくして進化なし

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

Copyright © 2016 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.